



平成 28 年 12 月 6 日

各位

会 社 名 アンジェス MG株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 経営戦略本部長 平崎 誠司  
電 話 番 号 03-5730-2641

### CIN 治療ワクチンで森下仁丹とライセンス契約締結 遺伝子医薬の主力事業に経営資源を集中

当社は、森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：駒村純一氏、以下「森下仁丹」）との間で、当社が保有する子宮頸部前がん治療ワクチン（CIN 治療ワクチン）の独占的開発・製造・販売権を同社に許諾するライセンス契約を締結することを平成 28 年 12 月 6 日に決定し、同日締結しましたのでお知らせします。

本件について両社は平成 28 年 6 月 16 日に基本合意し、その後、契約締結に向けて協議を続けてきましたが、今回、契約内容で合意し締結に至りました。当治療ワクチンについて当社は、韓国の BioLeaders Corporation（バイオリーダース）から日本、米国、中国および英国における独占的開発・製造・販売権の許諾を受けています。今回の契約で当社は、当社が許諾を受けている CIN 治療ワクチンの権利の全てを森下仁丹に独占的に再許諾するのに加え、当社が保有する関連特許の権利の一部を森下仁丹に譲渡します。

対価として当社は森下仁丹から、契約一時金および将来の商業化時におけるロイヤリティを受け取ります。契約一時金の額およびロイヤリティの料率は契約上の守秘義務により非公開とさせていただきます。

当治療ワクチンは、経口投与で子宮頸部の前がん病変を退縮・消失させ、子宮頸がんへの移行を回避できる世界初の治療ワクチンで、現在、東京大学医学部附属病院において医師主導臨床研究が実施されています。なお、今回の契約に伴い、東京大学との共同研究の実施主体は当社から森下仁丹に移管されます。

当社は CIN 治療ワクチンに関する権利を導出することにより、当社の経営資源を使うことなく、将来、森下仁丹による CIN 治療ワクチンの商業化が成功した際にはロイヤリティ

を受け取ることで当社が保有する権利の価値を最大化できます。当社は今後、主力事業である遺伝子治療薬、核酸医薬および DNA ワクチンの開発に経営資源を集中させます。

本契約に伴う一時金の受領を含めた業績予想の修正に関しては、平成 28 年 12 月 6 日発表のプレスリリース「平成 28 年 12 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上

(ご参考)

#### CIN 治療ワクチン

CIN 治療ワクチンは、子宮頸がんの原因ウイルスであるヒトパピローマウイルス (HPV) のたんぱく質に対する特異的な細胞性免疫を子宮頸部粘膜へ効率的に誘導します。これにより、子宮頸部の前がん病変を退縮～消失させ、経口投与で子宮頸がんへの移行を回避できる世界初のワクチンとして期待されます。